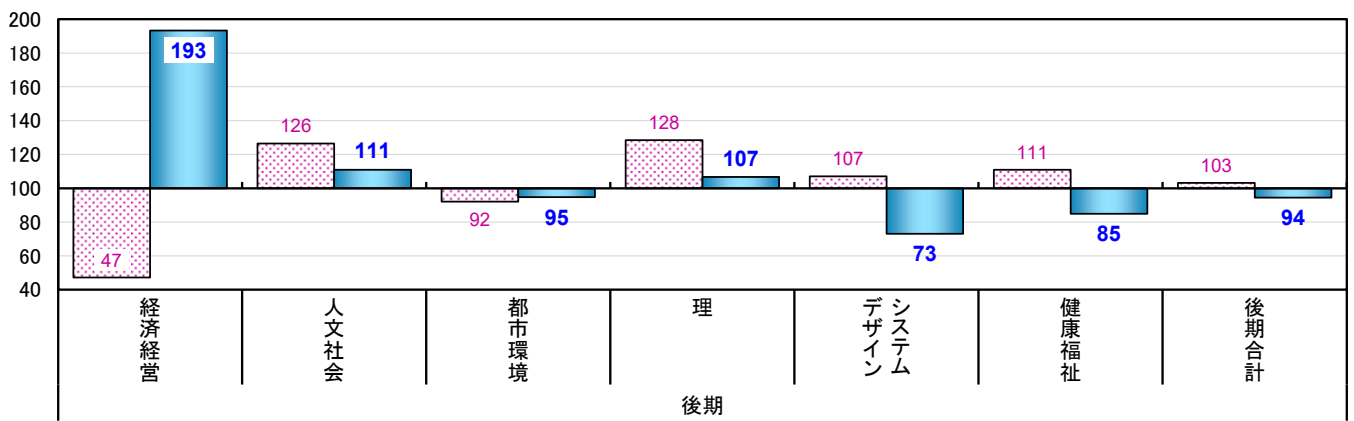
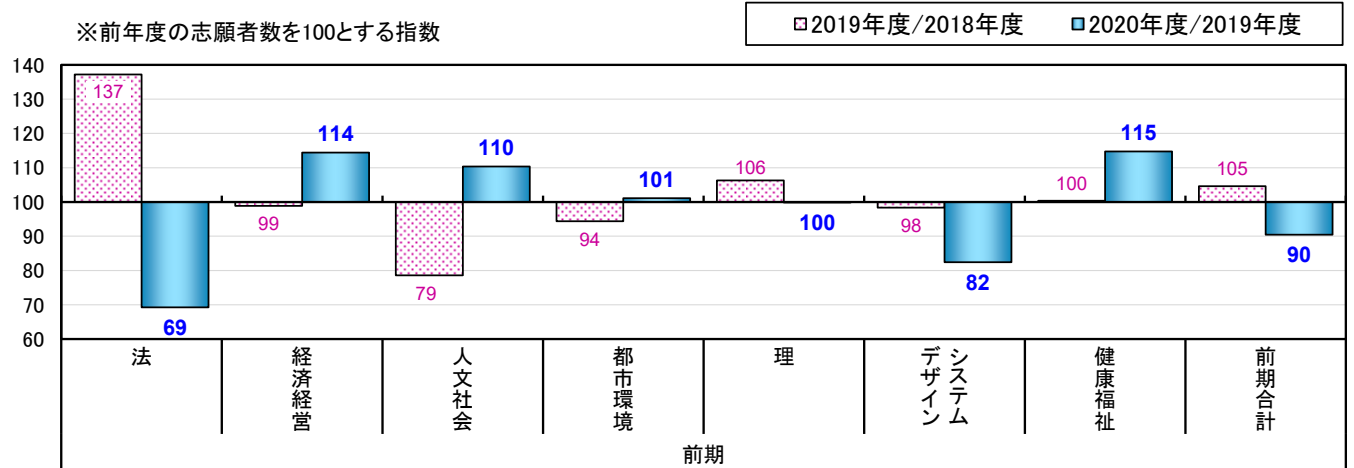


# 2020年度入試状況分析【国公立大】

東京都立大：学部改組2年目、文系学部で目立つ大幅な増減 前期：-551人 後期：-157人



**入試変更点** 大学名称：首都大学東京→東京都立大(2020年4月変更)  
 募集人員：人文社会<前>…61人→51人、<後>…12人→10人

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は551人(90)の減少。2015年度以降、前年度の反動による増減が続いている。後期は157人(94)のやや減少。前年度のやや増加の反動が見られる。

<前期日程>

- 法(69)は、2年連続大幅増加の反動で大幅減少。さらに、センター試験は3教科3科目で受験可能だが、国語、英語の平均点ダウンが影響。
- 経済経営(114)は、改組前の都市教養(都市/経営)を含めて3年連続減少した反動で増加。方式別では、理系型の<数理>(168)は激増、文系型の<一般>(104)はやや増加。
- 人文社会(110)は、前年度大幅減少の反動で増加。(人間社会)(123)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で(人文)(95)はやや減少で、改組後2年連続減少。
- 都市環境(101)は、2年連続減少の反動はなく前年度並。学科別では、大幅な増減が見られ、(都市政策科学)<文系>(195)が前年度半減の反動で倍増近い大幅増加、(観光科学)(132)、(都市政策科学)<理系>(130)、(都市基盤環境)(122)も大幅増加、一方で(地理環境)(68)、(環境応用化学)(77)、(建築)(85)は大幅減少と対照的だった。
- 理(100)は、2年連続増加の反動はなく前年度並。学科別では、(化学)(152)が大幅増加、一方で(生命科学)(62)、(数理科学)(84)が大幅減少。
- システムデザイン(82)は、大幅減少で2年連続減少。センター試験平均点のダウンにより、第1段階選抜を嫌う層が敬遠。学科別では、(機械システム工)(118)は大幅増加だが、他の4学科は減少。特に(電子情報システム工)(49)は半減以上の減少、(航空宇宙システム工)(80)も大幅減少。
- 健康福祉(115)は、大幅増加。学科別では、(放射線)(166)、(作業療法)(153)の2学科が大幅増加。

## 2020 年度入試状況分析【国公立大】

### <後期日程>

- 経済経営(193)**は、改組前の都市教養(都市／経営)を含めて3年連続大幅減少した反動でほぼ倍増。
- 人文社会(111)**は、改組前の都市教養(都市／人文・社会)を含めて3年連続増加した反動はなく、さらに増加。2学科とも増加し、特に(人文)(124)が大幅増加。
- 都市環境(95)**は、やや減少で2年連続減少。学科別では、(地理環境)(65)の大幅減少、(環境応用化学)(88)の減少が目立った。
- 理(107)**は、前年度大幅増加に引続き増加。学科別では、(化学)(193)はほぼ倍増で3年連続増加。一方で、(生命科学)(73)、(数理科学)(74)は大幅減少。
- システムデザイン(73)**は、前年度まで3年連続増加の反動で大幅減少。センター試験平均点のダウンにより、第1段階選抜を嫌う層が敬遠。学科別では、5学科全てが減少で、(情報科学)(94)を除く4学科は大幅減少。
- 健康福祉(85)**は、大幅減少で、前年度2年ぶりに増加したが再び減少に転じた。学科別では、前年度半減近い減少だった(放射線)(216)は倍増以上だが、他の3学科は大幅減少。特に、(作業療法)(42)は半減以下。